

# 

岐阜県のスーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定(4月 18日付け)について、5月 14日に古田知事が記者発表し、翌日の新聞(朝日新聞、中日新聞、岐阜新聞)でその概要が報道されました。

今後、第1学年を軸に全校態勢で SGH に取り組んでいけるよう、SGH に係る様々な情報を「関高 SGH 情報」としてお届けします。第1号はグローバル人材に係る内容です。

## ◇ グローバル人材とは

「産学官によるグローバル人材育成のための戦略」(産学連携によるグローバル人材育成推進会議,2011年4月)より

世界的な競争と共生が進む現代社会において、日本人としてのアイデンティティーを持ちながら、広い視野に立って培われる教養と専門性、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を創造する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識などを持った人間。

国の「スーパーグローバルハイスクール」事業で示されたグローバル人材より

グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる 人材(国際機関職員、社会企業家、グローバル企業の経営者、政治家、研究者等)

## ◇ スーパーグローバルハイスクールで求められる取組のポイント

「VIEW21」2014年2月号「グローバル化時代の人材育成を考える④」河村裕美文部科学 省初等中等教育局国際教育課課長補佐より(抜粋)

### ■SGH の目的

- ・グローバル・リーダーとしての国際的素養を身に付けること
- ■グローバル・リーダーに求められる素養
- ・グローバル・リーダーの素養として最も大切なのは、課題を発見し、それを解決する 力であり、そのため、幅広い教養やコミュニケーション能力、使える英語

#### ■研究対象

- ・人が創り出したもの(Art)→学問分野にとらわれ過ぎない
- ■課題研究のテーマ
- ・国際的に関心が高い社会課題やビジネス課題
- ・体験ができる課題研究
- ■研究の進め方
- ・課題研究内容に関する専門性を有する大学や企業と連携することが大切
- ・大学生を『サポーター』として活用するのも一つの方法
- ・目標設定と評価方法を明確に整備することが大切

「関高 SGH 情報」では、今後も、国や県の動向、本校での具体的取組など、SGH に係るさまざまな情報をお知らせしていきます。